

「標準的なカリキュラム案」について －その課題と可能性－

学習院大学 金田智子

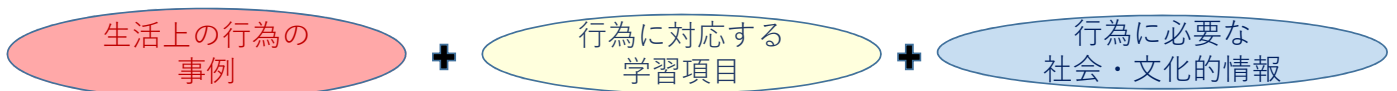
「標準的なカリキュラム案」とは？

= 「生活者としての外国人」が日本で暮らす上で最低限必要とされる生活上の行為を日本語で行えるようになることを意図し、必要となる日本語教育の内容を示したもの。

「生活者としての外国人」：日常的な生活を営むすべての外国人

「生活上の行為」：生活上の基盤を形成する上で**必要不可欠**と考えられるもの。

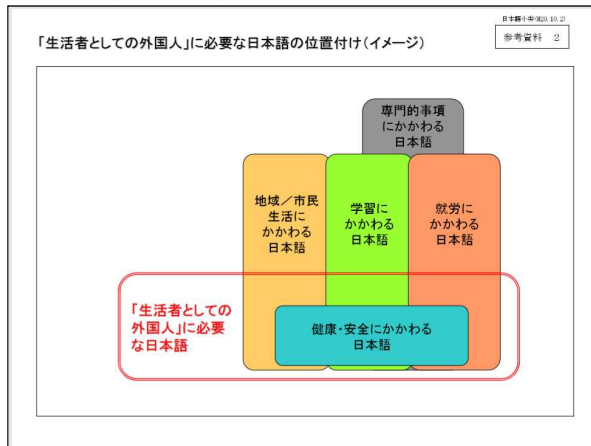
<内容>



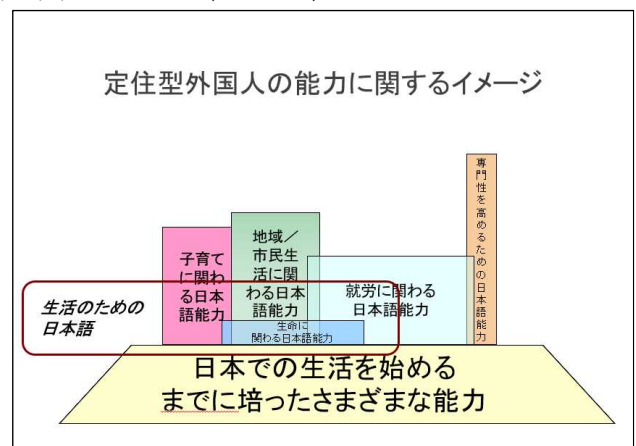
- ・ 121事例 a. 来日間もない外国人が基本的な生活上の基盤を形成するために必要なもの及び安全にかかわり緊急性があるもので、日本語でのやり取りが複雑でないと考えられるもの（106事例）
b. 基本的な生活基盤を形成するため、又は、安全にかかわり緊急性があり、情報として知っておく必要があるもの（15事例）

「標準的なカリキュラム案」：位置付け

小委員会（2008年）



国立国語研究所（2008年）



<標準的なカリキュラム案>

難易度よりも、「必要性」

生活上の行為の事例

+

行為に対応する学習項目

・「難易」はある
・同一行為の中で、難易の設定可能

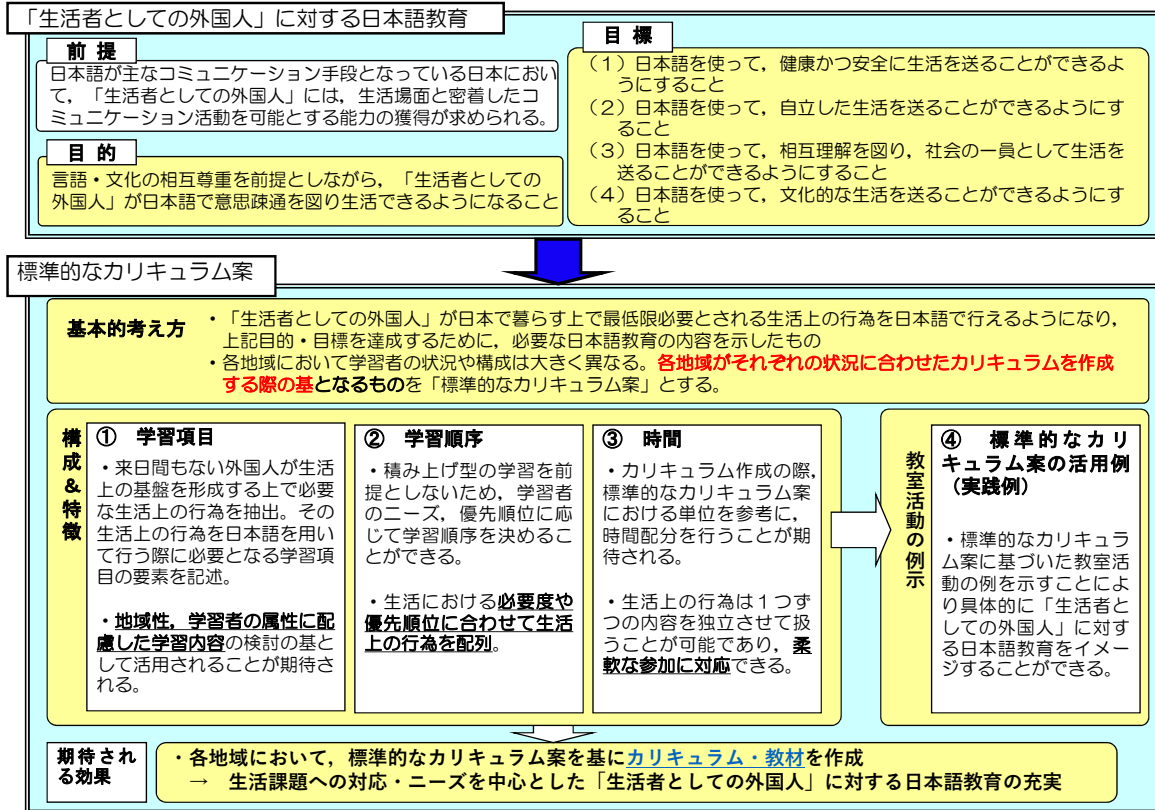
+

行為に必要な社会・文化的情報

I~Xの大分類のうち、必要性の異なる「V教育・子育てを行う」「VI働く」は扱わず

「標準的なカリキュラム案」：参考／根拠資料

- 文化庁実施アンケート調査「生活上の行為について」
 - 国立国語研究所日本語教育基盤情報センター学習項目グループ（2009A）「国立国語研究所内部報告書 日本語教育における学習項目一覧と段階的目標基準の開発－中間報告書－」
⇒ 同グループ（2009B）「日本語教育における学習項目一覧と段階的目標基準の開発：報告書（国立国語研究所報告128）」
* 中国帰国者定着促進センター「目標構造表」，アメリカやオランダの例等を参照
 - 社団法人国際日本語普及協会（2001）「リソース型生活日本語」
 - 日本語教育機関（財団法人アジア福祉教育財団 難民事業本部，財団法人中国残留孤児援護基金 中国帰国者定着促進センター等）への聞き取り調査
- ☆その他，国内外の各種調査研究の成果や教材が，上記資料に反映される



NEWS 日本語教育コンテンツ 共有システム

分類から検索

▼コンテンツ種別

▼対象者

▼学習者

▼学習目的

▼対象言語

▼学習内容

▲標準的なカリキュラム案等活用していない活用している

176
671

※学習者向けの英語版コンテンツは、下記一覧からも確認いただけます。

キーワードで検索 (登録名称、概要、登録内容、所有者)

このサイトは文化庁英語課が運営しています。

文化庁

日本語教育コンテンツの総合情報サイト「NEWS」へようこそ

「NEWS」は、日本語教育に関する教材、カリキュラム、練習書、論文、施策資料等(「日本語教育コンテンツ」)を集中的に検索できる情報検索サイトです。

このサイトは、日本語教育機関が持っている日本語教育コンテンツの共有化と活用を促すことを目的に、文化庁が提供しています。

このサイトの愛称「NEWS」は、日本語教育コンテンツ共有システムを意味する英語表記(Nihongo Education contents Web sharing System)の略称から名付けられたものです。

日本語教育コンテンツ

大学

専門学校

民間教育機関

自治体

コンテンツ及びその登録情報を検索

文化庁

情報システム構築

検索システム構築

検索要求

検索結果

利用者

全てのコンテンツを自動的に検索可能

ポータルサイト NEWS

検索システム構築

検索結果

利用者

全てのコンテンツを自動的に検索可能

～こんな教材が載っています！～

標準的なカリキュラム案等を活用して各地で作成された教材の一例

「おはようございます」
おはようございます

2014
標準的なカリキュラム案等
を活用して作成された教材

「初めてなんですけど…」
初めてなんですけど…

「おはようございます」
おはようございます

「初めてなんですけど…」
初めてなんですけど…

目次(詳細)

課	タイトル	学習目標	標準的なカリキュラム案番号
1	おはようございます!	日常のあいさつをする(近所の人と) Daily greetings (with neighbors) 隣居挨拶 隣居挨拶	VII 14 (31)07
2	これ、お願いします!	注文する Placing an order 定東西 訂東西	III 5 (08)20
3	トイレはどこですか?	売り場を尋ねる Asking a clerk which section sells the goods that you want to buy 問你想去的購物樓層 問你想去的購物樓層	III 5 (08)06
4	浅草に行きたいんですけど…	目的地への行き方を尋ねる Asking how to get to a destination 詢問去目的地的方法 詢問去目的地的方法	IV 07 (10)02
5	風邪の薬はありますか?	症状を説明し、薬を求める Explaining your symptoms and purchasing medicines 説明自己的症狀然後買藥 説明自己的症狀然後買藥	I 01 (02)02
6	初めてなんですけど…	初診受付で手続きをする Following the procedure for first-time patients at the reception desk 完成初診的掛號手續 完成初診的掛號手續	I 01 (01)02

<p>生活上の行為</p> <p>「生活者としての外国人」が日本語で行えるようになることが期待される行為</p> <p>標準的なカリキュラム案で扱う生活上の行為の大枠</p> <p>I 健康・安全に暮らす (7単位)</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康を保つ [3.5単位] 安全を守る [3.5単位] <p>II 住居を確保・維持する (2単位)</p> <ul style="list-style-type: none"> 住居を確保する [1.5単位] 住環境を整える [0.5単位] <p>III 消費活動を行う (4.5単位)</p> <ul style="list-style-type: none"> 物品購入・サービスを利用する [3単位] お金を管理する [1.5単位] <p>IV 目的地に移動する (3.5単位)</p> <ul style="list-style-type: none"> 公共交通機関を利用する [2.5単位] 自力で移動する [1単位] <p>VII 人とかかわる (2.5単位)</p> <ul style="list-style-type: none"> 他者との関係を円滑にする [2.5単位] <p>VIII 社会の一員となる (4.5単位)</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域・社会のルール・マナーを守る [2.5単位] 地域社会に参加する [2単位] <p>IX 自身を豊かにすることができる (2単位)</p> <ul style="list-style-type: none"> 余暇を楽しむ [2単位] <p>X 情報を収集・発信する (4単位)</p> <ul style="list-style-type: none"> 通信する [3.5単位] マスメディアを利用する [0.5単位] 	<p>個々の生活上の行為の事例について学習項目の要素を記述</p>	<p>学習項目</p> <p>生活上の行為を日本語で行えるようになるために必要な事項。以下の要素からなる。</p> <p>学習項目の要素</p> <p>〔例：健康を保つ＞医療機関で治療を受ける ＞「医師の診察を受ける」の学習項目の要素〕</p> <p>①能力記述 [※具体的な行動達成目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> 症状を伝えることができる 医師の診察、指示が理解できる <p>②場面（場所、相手、状況・動機）</p> <ul style="list-style-type: none"> 場所…病院 相手…医師 状況・動機…診察を受ける <p>③やり取りの例 [※典型的なコミュニケーションの例]</p> <p>B1：どうしましたか。 A1：昨日から頭が痛いんです。 B1：口を大きく開けてください。かぜですね。5日分の薬を出しておきます。</p> <p>④文法 [※やり取りの例に含まれる基礎的な文法事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> 疑問詞「どう」、終助詞「か(疑問)」… <p>⑤機能 [※やり取りによる社会的相互作用の役割]</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報要求、情報提供、単独行為要求 <p>⑥語彙 [※やり取りの例に含まれる語彙]</p> <ul style="list-style-type: none"> どう、する、昨日、頭、痛い… <p>⑦四技能 [※やり取りの例で必要とされる技能]</p> <ul style="list-style-type: none"> 話す「O」、聞く「O」、読む「一」、書く「一」
--	-----------------------------------	--

1 標準的なカリキュラム案で扱う生活上の行為の事例

<p>I 健康・安全に暮らす [7単位]</p> <p>01 健康を保つ [3.5単位]</p> <p>(01) 医療機関で治療を受ける [2単位]</p> <ul style="list-style-type: none"> 隣人に容態を伝えて助言を求める 初診受付で手続をする 医師の診察を受ける 病気への対処法・生活上の注意などを質問し答えを理解する <p>(02) 薬を利用する [1単位]</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療機関で処方せんをもらい、内容を確認する 症状を説明し、薬を求める 薬剤師等の「効能、用法、注意」の説明を理解する <p>(03) 健康に気を付ける [0.5単位]</p> <ul style="list-style-type: none"> 流行性の病気についての情報を理解し適切に対処する 食品や飲料水の安全情報を理解する <p>02 安全を守る [3.5単位]</p> <p>(04) 事故に備え、対応する [2単位]</p> <ul style="list-style-type: none"> 各種の標識・注意書き等を理解する (高層ビル危険、感電注意、立入禁止等) 有効な施設の利用方法について理解する 警察 (110番) に電話する 近くの人に知らせる (事件等) 救急車を要請する 近くの人に知らせる (事故等) <p>(05) 災害に備え、対応する [1.5単位]</p> <ul style="list-style-type: none"> 自治体広報、掲示、看板等を理解し、現地を確認する 避難場所・方法を理解する・人に聞く 地震について理解する 身を守る (地震発生時) 台風について理解する 天気予報・台風情報に留意し理解する 消防・救急 (119番) や警察 (110番) に電話する (火災等) 	<p>III 消費活動を行う [4.5単位]</p> <p>05 物品購入・サービスを利用する [3単位]</p> <p>(08) 物品購入・サービスを利用する [3単位]</p> <ul style="list-style-type: none"> 必要な品物を買う店を探す ☆目的によって店舗の種類を使い分けることを知る 販売しているところを探す デパート、スーパーマーケット、コンビニ、電器店、書店等で買い物をする 店内の表示を見たり店員に尋ねて欲しいものの場所を探す 売り場を尋ねる 店員に商品について尋ねる 値段を知る 商品の機能や値段を尋ねる 商品の表示を読む 値段・税率を計算する 試着を申し出る 色違いのものを確認する サイズの変更を申し出る ポイントカードや割引券を利用する クレジットカードを利用する 必要なものを選んで購入する 支払いをする (対面取引) 返品・交換をする 注文する ☆店ごとに受けられるサービスと代金を理解する (飲食店等の利用) 希望の食べ物を買う店を探す 電話で予約する 店員と話す 店で人数や禁煙・喫煙などの希望を伝える メニューを読む メニューを選んで注文する 食券を買う 追加の注文をする 支払いをする (飲食店) ☆店ごとに受けられるサービスと代金を理解する (各種サービスの利用) 店舗を探す 利用方法を学ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> 代金を支払う カードの利用の可・不可を確認する <p>06 お金を管理する [1.5単位]</p> <p>(09) 金融機関を利用する [1.5単位]</p> <ul style="list-style-type: none"> 申込みをする (口座開設) 預金の引出しをする <p>IV 目的地に移動する [3.5単位]</p> <p>07 公共交通機関を利用する [2.5単位]</p> <p>(10) 電車、バス、飛行機、船等を利用する [1.5単位]</p> <ul style="list-style-type: none"> 発車する時刻や乗る時間を知る 目的地への行き方を知る 券機機を利用する <p>(11) タクシーを利用する [1単位]</p> <ul style="list-style-type: none"> タクシー乗り場を探す 道路でタクシーを止める 行き先を告げる 運賃を開き取り、支払う <p>08 自力で移動する [1単位]</p> <p>(12) 徒歩で移動する [1単位]</p> <ul style="list-style-type: none"> 住所表示、交差点名、街の案内地図などを読む 地図上で目的地を確認する 地図を指してもらう 目的地の方向や距離を確認する 目的地までの道を知る <p>VII 人とかかわる [2.5単位]</p> <p>14 他者との関係を円滑にする [2.5単位]</p> <p>(31) 人と付き合う [2.5単位]</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆あいさつの種類と目的を理解する ☆TPOに合った適切なあいさつ形式を理解する ☆時宜に合ったあいさつを学んで実行する ☆あいさつの文化的背景を理解する ☆相手に合わせたあいさつをする 日常のあいさつをする 人間関係のきっかけを作るあいさつをする ☆自己紹介の方法を理解する ☆相手や状況に応じた自己紹介の仕方を理解する ☆仕事上の公的な自己紹介をする ☆私的な場面で自己紹介をする 	<ul style="list-style-type: none"> ☆必要を確認する (確定申告、還付申告) ☆居住地域のゴミ出しについて地域の公的機関で発行している生活情報パンフレット等で確認し理解する ☆居住地域のゴミ出しの方法について隣人に質問する ☆マナーについて人に相談する <p>16 地域社会に参加する [2単位]</p> <p>(35) 地域社会に参加する [2単位]</p> <ul style="list-style-type: none"> 居住地の自治会について隣人に尋ねる 自治会の会員になる 行事に参加する <p>IX 自身を豊かにする [2単位]</p> <p>20 余暇を楽しむ [2単位]</p> <p>(44) 余暇を楽しむ [2単位]</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆余暇を過ごす場所や利用方法を知る ☆適当な人からアドバイスをもらう ☆同僚や同僚の人からの口コミ情報を得る ☆施設の種類の違いについて知る (地域の公共施設) ☆利用方法を尋ねる (地域の公共施設) <p>X 情報を収集・発信する [4単位]</p> <p>21 通信する [3.5単位]</p> <p>(45) 郵便・宅配便を利用する [2単位]</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆郵便局のシステムを理解する ☆手紙や葉書を書いて送る ☆不在通知カードに対応する ☆宅急便を受け取る <p>(46) インターネットを利用する [0.5単位]</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆インターネットのサービス内容・利用方法を理解する ☆インターネット検索の方法を人に尋ねて理解する ☆電子メールを書く <p>(47) 電話・ファクシミリを利用する [1単位]</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆電話を掛ける ☆応答する <p>22 マスメディアを利用する [0.5単位]</p> <p>(48) マスメディア等を利用する [0.5単位]</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆テレビ番組を見る
---	---	---	---

2 生活上の行為の事例に対応する学習項目の要素

(凡例)

- : 未日開もない外国人にとって、基本的な生活基盤を形成するために不可欠であると考えられる「生活上の行為」。又は安全にかかわり緊急性がある「生活上の行為」のいずれかに該当すると考えられるものを示す。
- ★: 未日開もないかどうかを問わず、基本的な生活基盤の形成に不可欠であり、かつ複雑なコミュニケーションを必要とせず、自ら主体的に行うべき「生活上の行為」。又は安全にかかわり緊急性がある「生活上の行為」のいずれかに該当すると考えられるものを示す。
- ☆: 未日開もないかどうかを問わず、日本語学習を進める前提として、基本的な生活基盤を形成するため、又は、安全にかかわり緊急性があるため、情報として知っておく必要があると考えられるものを示す。
- A: 「やり取りの例」において学習者の発言を示す。
- B: 「やり取りの例」において学習者以外（日本人等）の発言を示す。

小分類				
事例1 (上位項目)		場面		
事例2 (下位項目)	能力記述	場所	相手	状況・動機
01) ● 医療機関で治療を受ける				
0101060 ★ 隣人に容態を伝えて助言を求める	<ul style="list-style-type: none"> 隣人に症状を伝えることができる 隣人に適切な医療機関の助言を求めることができる 隣人に適切な医療機関の所在を聞くことができる 	自宅	隣人	病院へ行きたいが、どの病院に行ったらいいかわからない
0102 問診票に記入する				
0102010 ★ 初診受付で手続をする	<ul style="list-style-type: none"> 初診であることを伝えることができる 保険証についての質問が理解できる 問診票の記載事項が理解できる 問診票などに住所、氏名、症状などを記入することができる 	病院 診療所	病院の受付	初めて行った病院で診察の手続をする

やり取りの例	機能	文法	語彙	4技能			
				話す	聞く	読む	書く
A 1: ひざが痛いんですが、どこの病院に行ったらいいですか。	情報要求	接続助詞 が (前置き)	ひざ[体の部位]	○	○		
B 1: ○○に整形外科がありますよ。	情報提供	イ形容詞普通形+んです (説明) 助詞+形+たら いい (勧告)	痛い どこ				
A 2: 耳が痛いんですが、どこの病院に行ったらいいですか。	情報要求	格助詞 か (疑問)	病院				
B 2: 耳が痛いなら、耳鼻科に行ったらいいですよ。	情報提供	格助詞 に (場所)	行く				
		助詞 ある (存在) 格助詞 よ (主格) 格助詞 が (状態の対象) 指示詞 どこ (疑問) 場所 (場所) 名詞修飾の 格助詞 に (到着点) 形容詞普通形+なら (仮定条件)	整形外科[診療科目] 場所 (例: 駅の前) 耳[体の部位] 耳鼻科 [診療科目]				
A 1: あいう、初めてなんですが。	注目要求 情報提供	間投詞 あいう (呼び掛け)	あいう	○	○	○	○
B 1: 初診ですね。こちらの問診票に記入してください。	単独行為要求	副詞+なのです (説明)	初めて				
B 1: 保険証はありますか。	情報要求	格助詞 を (確認) 指示詞 こちら (場所)	初診 こちら				
A 1: (記入事項について) ここには何を書くんですか。	情報要求	格助詞 に (場所)	問診票				
		動詞+形+ください (指示) 取り立て動詞 は (課題)	記入する				
A 1: (記入事項について) これはどういう意味ですか。	情報要求	助詞 ある (所有) 格助詞 か (疑問)	保険証				
		助詞 ある (所有) 格助詞 か (疑問) 指示詞 ここ (場所)	ここ 何 書く				

「標準的なカリキュラム案」：言語及び言語習得についての考え方

* 日本語教育小委員会 (2010年10月18日) 資料より

- 生活基盤の形成を重視、社会・文化的情報の提供
 - 言語は、**すべての人にとって生活する・生きるために不可欠なものである。**
- 対話による相互理解の促進
 - 言語は、自らの思考力や想像力を高め、感情を表現する上で大切なものである。
- 専門家・地域住民との協働を重視、学習者・支援者の主体性を重視
 - 言語は、**人との触れ合い、語り合い、学び合いに不可欠なものである。**
- 様々な伝達手段を用いての社会参加
 - 言語は話し言葉と書き言葉から言語生活(環境)を形成している。
 - 日本語は、漢字を含む数種の文字表記体系により複雑であり、**地域や個人に応じて社会参加に必要な読み書き能力を特定する必要がある。**
- 体験・行動中心の教室活動を推奨
 - 言語は、その言語が使用されている生活上の必然性・必要性の中で習得されていくものである。
- 地域や学習者の実情に応じた教育内容の選択と工夫を期待
 - 言語習得(の過程)は、学習者の多様な側面(興味関心・学習スタイル等)にかかわるものである。
 - それぞれの学習者の特性(興味関心・学習スタイル等)にかかわるものである。
- 実物やイラスト、写真を多用した指導を重視
 - 言語による行動能力の獲得は、**生活上の行為場面と密接に結び付けた学習**によって促進されるものである。
 - 言語習得は、言語事項を形式的学習から切り離し、**生活上の行為場面と密接に結び付けること**によって促進されるものである。
- 対話による相互理解の促進、体験・行動中心の教室活動を推奨
 - 学習者の意識的活動が言語習得には大切である。**主体的かつ自律的態度が日本語学習に対する自信と日本語力を高めるものである。**
 - 地域日本語教育は学習者自らが日々の生活を通じて学び続ける**生涯学習と連結するものである。学習者に対し、教室を離れても主体的かつ自律的に日本語学習が続けられるという自信を持たせる教育**でもある。

公開以来の課題／可能性とその後

		課 題	その後
公開 当時	1	行動中心の「生活上の行為」の理解促進 ・文型中心／構造シラバス⇒場面シラバス，言語活動シラバス	
	2	具体的カリキュラムの共有化，横のつながり	
	3	具体的カリキュラム，学習成果，等に関する評価	
	4	カリキュラム設計への学習者の参加	
	5	個々の生涯の中での「標準的なカリキュラム案」の位置付け。学習過程の見取り図が描ける，「目標基準」「テスト」「教育プログラム」	
	6	自律学習を促す方策・ツール，家庭学習を可能にするツールの整備	
	7	カリキュラムに対する客観的評価	
今後	8	言語活動の見直し ・各種のツール，リソースの日常利用を想定した見直し ・「社会」「社交」の見直し	
	9	媒体の多様性，利用方法の偏りへの意識化	
	10	「標準的なカリキュラム案」内の連結，立体化	
	11	「標準的なカリキュラム案」と他の一覧等との連結	